

平成28年度 政策づくり塾 第2回活動報告

第2回(6月1日)はアイスブレイクとして、一人ずつ「この一カ月で一番印象的な出来事」をテーマに1分間トークで始めました。それぞれが個性あふれる発表で和んだ雰囲気を作ることができたのと同時に、時間内に発表をまとめる勉強となりました。

また、塾生を紹介する「プロフィール集」が配布されました。各人の人柄や思いが感じ取れ、今後、活動を進めていくにあたり、様々なアイデアが出るのではないかと非常に楽しみにになりました。

講義「舞鶴市の現状と地方創生の取り組み」

企画政策課 亀井主査から講義を受けました。舞鶴市の現状や地方創生の取り組み、また、課題を考えるために必要なことについて学びました。

○まちの課題を考えるために必要な3つの視点

1. まちの現状を知る

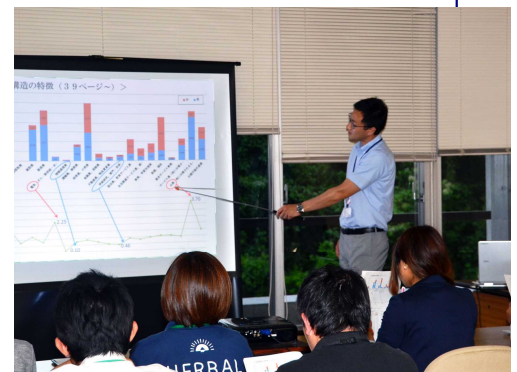
- ◆人口減、少子高齢化により人口構成の「質」が大きく変化した。
- ◆自衛官が多いこともあり、比較的若年男性は多いが若年女性は少ない。
- ◆合計特殊出生率は全国や京都府の平均に比べて高い。

2. まちづくりの着想

- ◆現状(今)だけにとらわれないこと
⇒今に至った過去を検証し、我が身に置き換え未来を予測する。
- ◆まちの成り立ちを知ること〔過去の検証〕
⇒私たちのまちがどのようにして出来たのか、なぜそうなったのかを考える。
- ◆未来は今と同じではない意識をもつこと〔未来予測〕
⇒今の視点だけで未来を考えるのではなく、自分の視点で時間軸を変えて未来を考えてみる。

3. 自分の思い・考えをもつ

- ◆自分がやりたいことや疑問、改善したいと思っていることから考えなければ具体化しない。



○地方創生の取り組み

舞鶴市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく、「交流人口300万人・経済人口10万人」都市・舞鶴の実現に向けた取組みが紹介されました。

地方創生の推進において重要なこと

- ◆地域の強みを理解し活かすこと
- ◆自分たちのまちに誇りをもつこと

グループディスカッション

「舞鶴市にあれば良いと思うもの」をテーマにグループディスカッションを行いました。

ハード面、ソフト面そして、それらを繋ぐ人の育成に至るまで、様々な意見が出ました。各グループで考え、多数の意見を聴く中で、各塾生の「目指したい舞鶴像」が少しずつ見えてきたのではないかと思います。

(例)子どもが職業体験をできる施設、空き教室の活用(地域交流の場の提供)、「地元の良さ」を教えてくれる教育 etc

公共活動の立案、実施に向けて、さらにステップアップするために、今後も熱く楽しく議論を重ね、深めて行きたいと思えます。

